第１章　環境研究センターの概要

１・１　沿　革

千葉県では、大気、水質、地質、廃棄物及び化学物質に関して３つの機関を設置して各種調査・研究を行い、大気汚染、水質汚濁、地盤沈下などの公害や廃棄物の適正処理に関して行政機関等と連携して対処してきた。県民の良好な環境質を求める動き、大気、水質及び地質の全ての環境質を循環して汚染する有害物質や地球環境問題など複雑、多様化する環境問題に対応するため、平成１３年度に３機関を統合した。

年月	環境研究所 （現大気環境研究室・ 騒音振動研究室）	水質保全研究所 （現水質地質部）	廃棄物情報技術センター （現廃棄物・ 化学物質研究室）
昭和４３年８月	公害研究所発足（大気を所掌する研究室設置）		
昭和４５年７月	地盤沈下研究室設置		
昭和４７年４月		水質保全研究所発足	
昭和４８年４月	大気第四研究室設置		
昭和４９年１１月	地盤沈下研究室が船橋分庁舎から千葉市稲毛海岸の庁舎に移転		
昭和５０年６月		新庁舎（稲毛海岸）に移転	
昭和５１年４月	大気常時監視業務を大気保全課に移管	産業廃棄物研究室設置	
昭和５４年４月	騒音振動研究室設置		
昭和６３年４月	地盤沈下研究室が水質保全研究所に組織替え	地盤環境研究室が公害研究所から所属替え（同時に名称変更）	
平成２年３月	環境放射能測定棟を設置		
平成３年４月		地質環境インフォメーションバンク整備	
平成４年４月	環境研究所に名称変更	地盤環境研究室を分割し地質環境第一及び第二研究室を設置	
平成６年４月	自動車排気ガス研究室を設置	産業廃棄物研究室を廃止し、印旛沼・手賀沼浄化研究室設置	廃棄物情報技術センター発足
平成１０年６月			廃棄物情報バンク整備
平成１１年４月			ダイオキシン分析設備整備
平成１３年４月	３機関を統合し、環境研究センター発足 （大気部、廃棄物・化学物質部、水質地質部の３部制）		
平成１７年４月	・大気部の大気環境研究室、ばい煙粉じん発生源研究室を、大気環境研究室として１室に統合 ・水質地質部の水質環境研究室、排水研究室を、水質環境研究室として１室に統合		
平成１９年４月	大気部、廃棄物・化学物質部を廃止 （１部・１課・１室・７研究室体制に変更）		
平成２０年４月	・総務課、企画情報室を総務企画情報課として１課に統合 ・廃棄物研究室、化学物質研究室を廃棄物・化学物質研究室として１室に統合		
平成２１年４月	・大気環境研究室、騒音振動研究室を大気騒音振動研究室として１室に統合		

１・２　施設の概要

（１）市原地区　　総務企画情報課
大気騒音振動研究室
廃棄物・化学物質研究室

所在地　　　市原市岩崎西１－８－８

敷地面積　　１３，２９５．１８㎡

建　物

本　　館	鉄筋コンクリート造２階建	延 1,372.50 ㎡
新　　館	鉄筋コンクリート造３階建	延 1,607.49 ㎡
騒音振動研究棟	鉄筋コンクリート造２階建	延　259.86 ㎡
大気振動実験棟	鉄筋コンクリート造平屋建	延　236.00 ㎡
環境放射能測定棟	鉄筋コンクリート造平屋建	延　100.75 ㎡
土木実験棟	鉄骨造平屋建	延　167.20 ㎡
付属建物（試験炉建屋，ボンベ庫，車庫等）		延　438.11 ㎡

（２）稲毛地区　　水質地質部（水質環境研究室、地質環境研究室）

所在地　　　千葉市美浜区稲毛海岸３－５－１

敷地面積　　６，６１４㎡

建　物

水質研究棟	鉄筋コンクリート造３階建	延 1,536.16 ㎡
地質研究棟	鉄筋コンクリート造２階建	延　756.00 ㎡
地質環境情報資料棟	鉄筋コンクリート造２階建	延　222.00 ㎡
付属建物（倉庫，車庫等）		延　351.65 ㎡

１・３　位置図

（1）市原地区（総務企画情報課、大気騒音振動研究室、
廃棄物・化学物質研究室）

（2）稲毛地区（水質地質部：水質環境研究室、地質環境研究室）

1・4　組織と業務（平成２１年４月１日現在）

センター長

次長(事)

次長(技)

水質地質部

総務企画情報課（８名）

1　センターの総合調整に関すること。
2　土地、建物、機械及び器具の管理に関すること。
3　庶務に関すること（水質地質部において所掌するものを除く。）。
4　環境の保全、公害の防止及び廃棄物の処理のための調査研究の企画及び連絡調整に関すること。
5　環境の保全、公害の防止及び廃棄物の処理に係る情報の管理システムの開発及び維持管理、相談、情報の収集及び提供並びに研究成果の広報に関すること。
6　環境の保全、公害の防止及び廃棄物の処理に係る研修及び啓発に関すること

大気騒音振動研究室（１２名）

1　大気汚染機構及び地域汚染の調査研究に関すること。
2　大気中におけるガス状汚染物質及び浮遊粒子状物質の調査研究に関すること。
3　乾性降下物及び湿性降下物に係る調査研究に関すること。
4　悪臭に係る調査研究及び技術指導に関すること。
5　環境放射能に係る調査研究に関すること。
6　ばい煙発生施設に係るばい煙の調査研究に関すること。
7　粉じん発生施設に係る粉じんの調査研究に関すること。
8　ばい煙発生施設及びばい煙処理施設に係る調査研究及び技術指導に関すること。
9　有害大気汚染物質の発生源に係る調査研究に関すること。
10　自動車排気ガスの調査研究に関すること。
11　自動車排気ガスの防止対策の調査研究に関すること。
12　自動車交通流に係る調査研究に関すること。
13　騒音に係る調査研究及び技術指導に関すること。
14　振動に係る調査研究及び技術指導に関すること。

廃棄物・化学物質研究室（１１名）

1　廃棄物の適正処理及び管理体制に係る調査研究及び開発に関すること。
2　廃棄物の減量化及び再資源化に係る調査研究及び開発に関すること。
3　廃棄物に係る技術指導に関すること。
4　ダイオキシン類その他の化学物質に係る調査研究に関すること。
5　ダイオキシン類その他の化学物質の分析技術及び評価手法に係る調査研究に関すること。

水質環境研究室（９名）

1　公共用水域の水質、底質及び水生生物に係る調査研究に関すること。
2　公共用水域の浄化手法及び親水機能の向上に係る調査研究に関すること。
3　水質評価手法に係る調査研究に関すること。
4　水質汚濁発生源に係る調査研究に関すること。
5　汚濁負荷量の削減に係る調査研究及び技術指導に関すること。
6　水質地質部における庶務の一部に関すること。

地質環境研究室（８名）

1　地下水のかん養、流出及び枯渇に係る調査研究に関すること。
2　地下水汚染に係る調査研究に関すること。
3　地層汚染（土壌汚染を含む。）に係る調査研究に関すること。
4　地質環境保全に係る地震及び地盤運動の調査研究に関すること。
5　地盤沈下に係る調査研究に関すること。
6　地質環境情報の管理に関すること。
7　地質環境利用の調査研究に関すること。